

技能・技術功勞士 推 せ ん 調 書 (記載例)

要件	①年齢55歳以上の人 ②同一職業に技能・技術職として30年以上従事している人 ③卓越した技能・技術を有し、他の技能・技術者の模範と認められ、業界の発展に寄与した人		職 種 名						
			〇〇工 (※原則、「久留米市技能・技術奨励者の候補者推薦基準別紙の別表」に記載されている職種をご記入ください。)						
ふりがな	くるめ たろう		職 歴	在 職 期 間			在 職 年 月 数	合計在職年 月 数	
氏 名	久留米 太郎			〇〇株式会社	昭和63年	4月	1日		10年 0月
				〇〇建設	平成10年	4月	1日		21年 0月
				株式会社〇〇	令和元年	4月	1日		8年 0月
生 年 月 日	(4月1日現在の満年齢) 昭和41年9月12日生 (60歳)								
性 別	男 ・ 女						39年0月		
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 久留米市〇〇町〇-〇 TEL:0942-〇〇-〇〇〇〇		在職年月数は月単位で記入すること。また、現職については、表彰のおこなわれる年度の4月1日をもって終期とすること。						
就 業 先	名 称	株式会社〇〇 企業全体の従業員数：〇〇人							
	所 在 地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 久留米市〇〇町〇-〇 TEL:0942-〇〇-〇〇〇〇 FAX:0942-〇〇-〇〇〇〇							
推 せ ん 基 準	<p>下記ア～カのいずれか該当するものに○をつけてください。 ※該当する項目については、次の設問以降の該当箇所にその内容を具体的にご記入ください。</p> <p>㊦、技能検定関連職種については、卓越した技能・技術を有し、一級技能検定に合格した人又は技能検定委員の経験がある人若しくはこれと同等以上と認められる人</p> <p>㊧、全国的な規模の技能・技術競技大会等において、優秀な成績を収めた経験を有する人</p> <p>㊨、永年に亘り業務に精励し、他の技能・技術者の模範と認められるとともに、技能・技術の継承と、産業の振興発展、勤労者の福祉の増進に寄与した人</p> <p>㊩、表彰や感謝状を受けるなど、業界の振興発展に寄与した人</p> <p>㊪、卓越した技能・技術を有し、業界団体の長を2期以上務めるなど、永年に亘り業界団体の要職を務め、業界の発展に貢献し、その功績が特に顕著である人</p> <p>カ、永年に亘り、ゴム産業又は久留米絣などの伝統工芸業務に精励し、市特有の産業の振興発展に寄与した人</p>								
ア 免 許 ・ 資 格 等	技能検定合格歴	級	職 種 (作 業 名)			取 得 年 月			
		1 級	〇〇技能士 第1種 〇〇士 第2種 〇〇士 (〇種)			平成10年4月1日 昭和62年4月1日 同上			
	技能検定委員経歴	検定名称		主催者等	就任期間 (年 月 ~ 年 月)				
	〇〇 (〇〇作業)		職業能力開発協会		令和6年4月1日 ~令和7年3月31日				

イ 入賞歴	競技会等 入賞歴	競技大会等の名称	順位	実施団体	実施年月
		全国〇〇技能競技会	2位 1位	一般社団法人〇〇協会	令和5年7月1日 令和6年7月1日
ウ・工 産業発展への貢献・功績	<p>(被表彰者候補者が受け継いできた技能・技術又は技能・技術における考案、改善等により、産業への貢献度が高く評価されていることについて具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事等で使用する機器や手法の安全性・効果性に対して、若いころから疑問を抱えており、〇〇会社との共同開発、組合内の他の技術者との検討などにより、様々な機器、手法の改善等に努めている。 〇〇会社と共同開発した〇〇については、安全性・効果性が非常に高く、国土交通省からも表彰をうけるなど多方面から高い評価を受けている。 ・〇〇の技術は、〇〇業界の中でも秀でており、組合内の技術者育成プログラムで講師を務め、技術を継承するなど、後進の育成にも貢献している。 				
	業界表彰・感謝状の名称	表彰の事由	実施団体	受賞年月	
	久留米市技能・技術奨励者表彰 (優秀士) 〇〇表彰	高い技能・技術を有すると認められる	久留米市 国土交通省	平成20年4月1日 令和5年7月1日	
オ 業界貢献	団体 役員 歴等	団体の名称	役員名	就任期間(年 月～年 月)	
	〇〇組合		副理事長 理事長	平成25年4月1日～令和元年3月31日 令和元年4月1日～令和7年3月31日	
<p>(特に顕著な功績について、具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手技術者の能力向上のため、若手技術者を中心とする育成グループを設立。 ・自身も講師として、講義や実技を教えるなど、若手の人材育成に注力している。 ・参加した若手技術者のうち、4人が〇〇競技大会において上位入賞を果たしている。 					
カ 発展への寄与	<p>(特に顕著な功績について、具体的に記入してください。)</p> <p>なし</p>				
現役性	<p>(現に、技能・技術職として働いている内容について、具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年から、〇〇室の室長を就任。現場監督として、多くの技術者を指揮する一方、自身もこれまでに培ってきた経験をもとに、〇〇の修繕や、〇〇の作業に従事する。 ・令和7年度に行った〇〇の補修工事では、自ら〇〇を使用し、工期の大幅な短縮に貢献した。 ・〇〇の扱いは社内でも最も優れており、現場作業では、若手と一緒に〇〇を扱い、技術を継承するなど、60歳になった現在でも、現役として従事している。 				
その他	<p>(そのほか高い技能・技術を有していることが分かる点があればご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若いころから〇〇の手法に疑問を持っており、所属する会社や組合に対して改善を提案。 令和元年に〇〇の新手法である〇〇法を考案、〇〇作業の安全性・効果性を高めることに成功した。 ・38年に亘り、〇〇工として従事。特に、〇〇作業において能力が高く、直近では〇〇の新規開設、〇〇の改修工事において現場監督者として、50人程度の技術者を指揮する。 				
推 せ ん 者 に 係 る 事 項					
団体等の 名称・ 所在地	(名称) 〇〇組合 〒〇〇〇-〇〇〇〇 久留米市〇〇町〇-〇		照会の 場合等 の担当者	(所属) 〇〇組合 (氏名) 久留米 花子 (TEL) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 (FAX) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	